

第56期 報告書

2017年4月1日 ~ 2018年3月31日

HEPHAIST®

それは価値を創造する個性ある集団です。



第57期経営方針

『不易流行』

社会構造の変革期こそ、経営や業務の「不易と流行」を再確認します。

代表取締役社長 尾崎浩太

皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

昨年11月の創業者の逝去に際しましては、皆様のご厚意に改めて御礼申し上げますとともに、当社第56期報告書をお届けするにあたり、平素のご支援を深く感謝し、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における日本経済は、引き続き緩やかな回復基調にあり、設備投資や雇用の活発化の動きが見られました。中国や新興国においても、経済の持ち直しの動きが見られ、設備投資が活発化する動きが見られました。米国においても、政策による雇用改善の動きが見られ、回復基調へと堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、「Action Thinking Teamwork」を方針に掲げ、各個人の主体性と創造力を活かしながら、目標に向かって組織が一丸となって協力する体制を強化するとともに、引き続き、営業・技術・製造の三位一体の機動力を生かし、生産性の向上、原価低減等、収益の改善に取り組んで参りました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、2,623,973千円（前連結会計年度比19.2%増）、経常利益は234,753千円（前連結会計年度比75.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は166,402千円（前連結会計年度比97.6%増）となりました。

主力製品であります直動機器につきましては、産業用機械業界及び民生向けに販売を進め、当連結会計年度の売上高は1,628,755千円と前連結会計年度と比べ410,727千円の増加（前連結会計年度比33.7%増）となりました。

精密部品加工につきましては、レース用部品の売上が好調に推移していることから、売上高は729,529千円と前連結会計年度と比べ3,960千円の増加（前連結会計年度比0.5%増）となりました。

ユニット製品につきましては、主に中国の液晶製造装置等の産業用製造装置向けの販売が増加したことから、売上高は265,687千円と前連結会計年度と比べ8,084千円の増加（前連結会計年度比3.1%増）となりました。

次期の見通しにつきましては、日本経済は引き続き、世界経済の回復に伴う輸出増加が続き、設備投資などの需要も高推移が予想され、雇用においても引き続き労働需要が高い水準で見込まれています。一方、中国経済では、自動車需要の減少、米国との貿易摩擦等の影響による為替変動の懸念はあるものの、個人消費分野の需要増加をきっかけに、引き続き設備投資の拡大により、経済成長は継続していくものと予想されます。

このような状況のなか、次期の連結業績見通しにつきましては、売上高2,756百万円（前期比5.0%増）、営業利益233百万円（前期比3.7%増）、経常利益237百万円（前期比1.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益159百万円（前期比3.9%減）を見込んでおります。

当社グループの業績は主要市場である産業用機械業界、電子部品業界及び自動車関連業界等の国内・海外における設備投資の動向に大きく影響を受けております。

当社グループは、このような事業環境の中で、納期遵守を第一の課題と認識し、顧客満足度の向上のため、営業・技術・製造の三位一体体制の更なる強化による顧客対応力の向上、QCDの追求による製品力の向上、固定費・変動費の削減等を強力に推し進め、収益の向上及び経営基盤の強化に努めて参ります。

主な重点方針は以下のとおりであります。

- ① 生産能力増強とコストダウンによる採算性向上
- ② 顧客ニーズに適合した応用製品の開発と販売
- ③ 提案型技術営業による新規顧客開拓

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当を行うことを基本方針としております。

この方針のもと、第56期の配当につきましては、1株当たり4円の配当を実施させていただくこととなりました。

第57期の配当金につきましては、1株当たり年間4円を実施する予定です。

株主・投資家の皆様には、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2018年6月

TOPICS

工場間交流会

埼玉工場と秋田工場との交流を図るため10月15日から10月16日に秋田へ社員旅行及び秋田工場見学を実施しました。

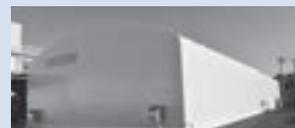
新たな発見も多くあり、工場間の連携強化、生産対応の強化にも繋がりました。



埼玉工場新倉庫建設・秋田工場倉庫内加工室増築

埼玉工場は前期に古い倉庫を取り壊し、今期新たに倉庫を建設しました。これにより材料置場を確保し物流の拠点となっています。

また、秋田工場は機械の新規導入及び加工場所を確保するために、倉庫内に加工室を増設しました。



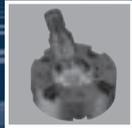
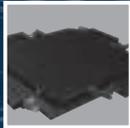
埼玉工場新倉庫



秋田工場加工室

事業概要

当社は、1962年（昭和37年）の設立以来、リニアボールブッシュの専門メーカーとして、常に新しいテクノロジーを追求し、多様化するニーズに応えるべき技術力と創造力により高品質・高付加価値製品を提供して参りました。これからも長年蓄積した固有技術を活かし、事業の柱となるリニアボールブッシュなどの直動機器、精密部品加工及びポジショニングステージなどのユニット製品の3つの事業領域を中心に新たな分野へ挑戦し、企業価値の拡大を目指して参ります。



連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	56期	55期 (ご参考)
	平成30年3月31日	平成29年3月31日
資産の部		
流動資産	2,709,303	2,494,609
固定資産	2,226,569	2,041,203
有形固定資産	2,048,881	1,894,201
無形固定資産	20,423	11,257
投資その他の資産	157,264	135,745
資産合計	4,935,872	4,535,813
負債の部		
流動負債	1,162,943	849,257
固定負債	508,322	580,059
負債合計	1,671,266	1,429,316
純資産の部		
株主資本	3,251,924	3,098,031
その他の包括利益累計額	12,682	8,464
純資産合計	3,264,606	3,106,496
負債純資産合計	4,935,872	4,535,813

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	56期	55期 (ご参考)
	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで
売上高	2,623,973	2,201,201
売上原価	1,895,073	1,600,480
売上総利益	728,900	600,721
販売費及び一般管理費	503,574	454,958
営業利益	225,326	145,763
営業外収益	13,597	2,082
営業外費用	4,169	13,998
経常利益	234,753	133,846
特別利益	313	2,999
特別損失	2,202	24,528
税金等調整前当期純利益	232,863	112,318
法人税、住民税及び事業税	65,972	32,565
法人税等調整額	488	△ 4,479
親会社株主に帰属する当期純利益	166,402	84,233

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	56期	55期 (ご参考)
	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	422,226	305,692
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 211,998	△ 133,633
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 50,469	34,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,300	△ 788
現金及び現金同等物の増減額	162,058	205,615
現金及び現金同等物の期首残高	950,567	744,952
現金及び現金同等物の期末残高	1,112,626	950,567

連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

56期 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	株主資本				株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
当期首残高	717,495	664,455	1,716,769	△ 687	3,098,031
当期変動額					
剰余金の配当			△ 12,482		△ 12,482
親会社株主に 帰属する当期純利益			166,402		166,402
自己株式の取得				△ 27	△ 27
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	153,920	△ 27	153,892
当期末残高	717,495	664,455	1,870,689	△ 715	3,251,924
	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,214	7,250	8,464		3,106,496
当期変動額					
剰余金の配当					△ 12,482
親会社株主に 帰属する当期純利益					166,402
自己株式の取得					△ 27
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)	1,337	2,880	4,217		4,217
当期変動額合計	1,337	2,880	4,217		158,109
当期末残高	2,551	10,130	12,682		3,264,606

連結貸借対照表のポイント

資産の部

55期において「流動資産」に含めていた「繰延税金資産」28,880千円を「投資その他の資産」へ紐替えております。

現預金は前期と比べ162,058千円増加し、また、機械装置及び運搬具が93,604千円増加しました。設備投資の総額は285,770千円となりました。

負債の部

仕入債務は前期と比べ、153,684千円増加し、また、営業外支払手形が55,892千円増加しました。

純資産の部

利益剰余金は前期と比べ、153,920千円増加しました。

連結損益計算書のポイント

販売費及び一般管理費の研究開発費は36,586千円となりました。営業外収益に補助金収入9,877千円計上しました。

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

- 税金等調整前当期純利益の増加に加え、仕入債務の増加により資金が増加しています。
- 固定資産の取得により、資金が減少しています。
- 借入金の返済により、資金が減少しています。

連結株主資本等変動計算書のポイント

純資産の増加は、利益剰余金の増加によるものです。

株式の状況

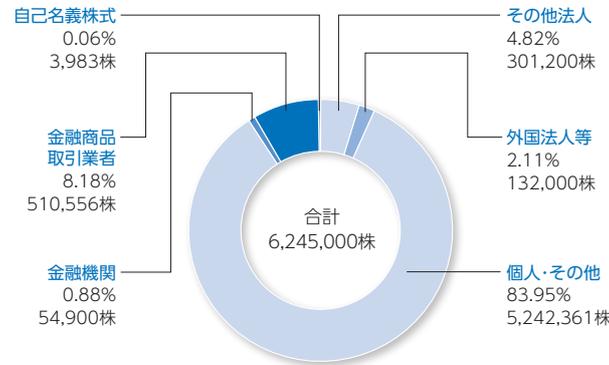
株式の状況 (2018年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	18,720,000株
発行済株式の総数	6,245,000株

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
尾崎 浩太	1,123	17.99
尾崎 文彦	1,021	16.36
尾崎 久壽彌	694	11.13
株式会社SBI証券	174	2.80
株式会社376	119	1.91
高水 永夫	76	1.22
楽天証券株式会社	70	1.12
マネックス証券株式会社	61	0.99
金井 俊和	59	0.95
松井証券株式会社	55	0.89

(注) 1. 持株比率は自己株式 (3,983株) を控除して計算しております。
2. 尾崎久壽彌氏は、平成29年11月に死去されましたが、平成30年3月31日現在、名簿書換未了のため、株主名簿上の名義で記載しております。

所有者別株式数 (2018年3月31日現在)



第56期定時株主総会に関するご報告

平成30年6月27日開催の第56期定時株主総会における報告内容及び決議内容は、下記の通りです。

記

報告事項

第56期 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決されました。
期末配当金は、1株につき4円となります。

第2号議案 取締役5名選任の件

本件は、原案どおり取締役として尾崎浩太氏、尾崎文彦氏、福留弘人氏、菜花有三氏、天野雅人氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第3号議案 取締役に対する譲渡制限付株式の付与のための報酬決定の件
本件は、原案どおり、社外取締役を除く取締役4名に対し譲渡制限付株式の付与のための報酬を支給することに承認可決されました。

第56期期末配当金のお支払いについて

本総会の決議により、第56期期末配当金は1株につき4円と決定いたしました。

1. 口座振込をご指定いただいている株主様は、同封の「第56期期末配当金計算書」及び「配当金振込先ご確認のご案内」によりご確認ください。

株式数比例配分方式を選択されている株主様の配当金のお振込先につきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

2. 口座振込をご指定いただいていない株主様は、同封の「第56期期末配当金領収証」により、払渡期間中 (平成30年6月28日～平成30年7月28日) に最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口で配当金をお受け取りください。

会社の概要

会社の概要 (2018年3月31日現在)

社名 …… ヒーハイト精工株式会社

本社 …… 〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1

埼玉工場 …… 〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1
[敷地面積16,677㎡ 建物面積7,280㎡]
TEL 049-273-7000 (代表)
FAX 049-273-7001

秋田工場 …… 〒010-1653 秋田県秋田市豊岩小山山下田454番地
(豊岩工業団地内)
[敷地面積36,292㎡ 建物面積4,525㎡]
TEL 018-828-0111
FAX 018-828-1192

海外 …… 赫菲(上海)軸承商貿有限公司 (中華人民共和国)

設立 …… 1962年 (昭和37年) 7月19日

資本金 …… 717,495,000円

従業員 …… 111人 (43)
(外、平均臨時雇用者数)

役員 (2018年6月27日現在)

代表取締役社長	尾崎 浩太
専務取締役	尾崎 文彦
常務取締役	福留 弘人
取締役	菜花 有三
取締役 (社外)	天野 雅人
常勤監査役	荒井 寿晃
監査役 (社外)	上條 弘
監査役 (社外)	菅野 浩正

執行役員 …… 佐々木 宏行

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日 (中間配当を行う場合、毎年9月30日)
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
電話	0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場金融証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード市場)
証券コード	6433
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告の方法により行う。
公告掲載URL	http://www.hephaist.co.jp

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【株式会社のお手続きに関するお問い合わせ】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部テレホンセンター
(東京) フリーダイヤル 0120-232-711
受付時間: 土・日・祝祭日を除く 平日9:00～17:00

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

※ 本誌には、ヒーハイト精工の将来に関連する記述があります。この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることにご留意ください。

以上